

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

ユネスコ2カ年事業・予算	ユネスコ技術援助専門家の派遣			担当部局庁	国際統括官付	作成責任者				
事業開始年度	昭和48年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付	国際戦略企画官 白井 俊				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ユネスコ事務局への行政官等の派遣を通じユネスコに貢献することで、国際社会における日本のプレゼンスの向上を図るとともに、国際的に通用する若手人材の育成及び人的ネットワークの構築を図り、我が国が優先的に推進するユネスコ活動の円滑かつ効果的な確保を促し、国益の増進に貢献する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、行政官や研究者等の専門家をユネスコ事務局に派遣し、教育、科学、文化に関する職務に従事させる。									
実施方法	その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	20	20	53.1	70.8	70.8			
	執行額	20	20	53.1						
	執行率(%)	100%	100%	100%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	100%	100%						
	令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
ユネスコ事業等拠出金		70.8	70.8							
計		70.8	70.8							
活動内容 (アクティビティ)	「ユネスコ技術援助専門家派遣事業」として、ユネスコ事務局への行政官や研究者等の専門家派遣を通じユネスコに貢献することで、国際社会における日本のプレゼンスの向上を図るとともに、教育、科学、文化に関する職務に従事させ、我が国が優先的に推進するユネスコ活動の円滑かつ効果的な確保を促し、国益の増進に貢献する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	ユネスコ事務局への行政官や研究者等の専門家を派遣	ユネスコ事務局への派遣者数	活動実績	人	3	4	4	-	-	
			当初見込み	人	3	3	4	4	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	予算執行額/派遣者数			単位当たりコスト	百万円	7	5	13	17.7	
				計算式	百万円/人	20/3	20/4	53.1/4	70.8/4	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	教育・科学・文化分野における日本の世界でのプレゼンスを高めること	各国際会議において、日本の優先課題が取り上げられた数(※目標値は前年度成果実績と同数で算出)	成果実績	件	-	-	41	-	-	
			目標値	件	-	-	-	41	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	ユネスコ2カ年事業・予算									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
	邦人専門職員の維持増強	ユネスコにおける邦人職員数(専門職以上)	成果実績	人	33	36	36	-	-	
			目標値	人	35	40	40	40	-	
			達成度	%	94.3	90	90	-	-	

根拠として用いた統計・データ名(出典)		ユネスコ人事部作成資料								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標4年度	目標最終年度-年度	
	邦人幹部職員の維持増強	ユネスコにおける邦人幹部職員数(D1以上)の邦人職員数に対する割合	成果実績	%	6.1	5	5.5	-	-	
			目標値	%	3.7	2.8	2.7	2.5	-	
			達成度	%	164.9	178.6	203.7	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	ユネスコ人事部作成資料									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進							
		施策	13-2 国際協力の推進		政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf				
	新経済・財政再生計画改革工程表2021	取組事項	分野:							
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:							
		該当箇所	該当箇所							
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
		項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	ユネスコ事務局において、日本から派遣された行政官等が、我が国が優先的に推進するユネスコ活動の円滑かつ効果的な実施を確保することは、ユネスコへの人的貢献を通じ、国際社会における日本のプレゼンス向上にも寄与するもの						
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図ることを目的としており、国が戦略的に推進していく必要がある。						
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	ユネスコは、教育、科学、文化を担当する唯一の国際機関であり、先進国、発展途上国を含む193カ国が加盟国であることを踏まえると、国際社会において我が国のプレゼンスを示す上でユネスコに人的貢献を行うことは重要である。						
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-							
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-							
		競争性のない随意契約となったものはないか。	-							
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	派遣経費が比較的低い若手職員も派遣することにより、単位当たりのコストの削減に努めている。						
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	ユネスコで定める給与規定に基づき、支出を認めている。						
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標をおおむね達成できている。						
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	ユネスコ事務局での勤務は、ユネスコ事業の円滑かつ効果的な実施を図る観点から、有効な手段となっている。						
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の予定通りの職員を派遣している。						
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	派遣された職員は帰国後も国際業務に従事するなど、自身の経験を生かした貢献を行っている。						
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-							
		事業番号	事業名							

点検・改善結果	点検結果	我が国としてより政策的必要性の高い分野において、ユネスコの活動がより円滑かつ効果的に実施されるよう、本事業による派遣者の派遣先及び職務内容を精査したうえで、我が国において大きな関心を集めている世界遺産センターと、我が国が提唱しユネスコが主導する「持続可能な開発のための教育(ESD)」の担当課等に派遣をすることで我が国のプレゼンス向上等に寄与している。また、成果目標について、我が国のプレゼンス向上の成果がよりの確に測れる成果指標の見直しを行った。
	改善の方向性	引き続き人的貢献を着実に行うことにより、我が国のプレゼンスを示すことは有用である。派遣先や派遣人材等については、引き続きユネスコの重点分野や我が国のユネスコ活動の優先事項、ユネスコへの要望を勘案の上、より戦略的に定めていく。

**外部有識者の所見**

本事業は、若手人材を国際的にも通用する人材として教育することも重要な目的の一つであることから、その目的が明確となるような記載の工夫が必要である。また、本事業の経験を生かした広い視野での人脈作りや指標としている国際機関におけるD1以上の幹部に育っていくことが望まれる。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

の事業善部内改善	この事業は、外部有識者からの指摘を踏まえ、若手人材を国際的に通用する人材として教育することも重要な目的の一つであることから、その目的が明確となるよう成果指標等の記載を工夫すべきである。また、事業の実施に当たっては、国際機関におけるD1以上の幹部に育って行けるよう引き続き事業執行を行うべきである。
----------	--

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

執行善等改	外部有識者からの指摘を踏まえ、国際的に通用する若手人材の育成という観点も重要であることから、その目的が明確となるよう成果指標等の記載を工夫する。
-------	--

**備考**

ユネスコ活動に関する法律 <http://www.mext.go.jp/unesco/009/002.htm>

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成23年度	25			
平成24年度	20			
平成25年度	443			
平成26年度	439			
平成27年度	434			
平成28年度	417			
平成29年度	425			
平成30年度	429			
令和元年度	文部科学省 - 0422			
令和2年度	文部科学省 0423			
令和3年度	2021 文科 20 0448			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**文部科学省**  
**53.1百万円**

ユネスコ技術専門家の派遣

↓

【拠出金】

**A. ユネスコ**  
(国際連合教育科学文化機関)  
ユネスコ技術援助専門家派遣事業  
53.1百万円

行政官や研修者等の専門家をユネスコ事務局に派遣し、教育、科学、文化に関する職務に従事させ

る。

費目・使途 (「資金の流れ」に においてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	ユネスコ事業への協力	53.1			
計		53.1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ユネスコ(国際連合 教育科学文化機関)	-	ユネスコ技術援助専門家 の派遣	53.1	その他	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-